

会 議 録

令和2年1月24日作成

会議名	第7回木更津市民会館整備検討委員会		
開催日	令和2年1月10日(金)	場 所	駅前庁舎8階 防災室・会議室
時 間	午後2時00分～午後3時30分		
出席者	委 員：倉田委員長、古橋副委員長、伊藤委員、松井委員、宮崎委員 土居委員、地曳委員、渡部委員 事務局：総務部 伊藤次長 総務課) 曾田課長、安田副主幹、河名主任主事 管財課) 勝畑参事兼課長、岡田参事、平本主幹 (株)シアターワークショップ 伊藤代表取締役、佐藤氏、古川氏、伊藤氏 【木更津市中規模ホール整備基本計画策定業務受託者】		
議 題	1 第6回委員会議事内容の確認について 2 施設計画及び規模について 3 管理運営について 4 概算事業費と整備手法について 5 事業スケジュールについて 6 基本計画(案)について		
公開・非公開の別	議題1～6	公開	
傍聴者数	3人		
配付資料	○会議次第 ○資料1 第6回委員会議事内容の確認 ○資料2 施設計画および規模 ○資料3 管理運営に関する考え方 ○資料4 概算事業費と整備手法の検討 ○資料5 事業スケジュール ○資料6 基本計画目次(案)		
会議概要	別紙のとおり		

○司会

本日は皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

ではまず初めに、配布資料のご確認をお願いいたします。

【配布資料確認】

本日の会議は公開で行います。

会議の傍聴希望される方がおりますので、ここで、傍聴人の方に入ってください。

【傍聴人入場】

それではただいまから第7回木更津市民会館整備検討委員会を開催させていただきます。

ここで会議の定足数についてご報告させていただきます。

附属機関設置条例第6条第2項の規定によりまして、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとなっております。

本日、石村、岩埜各委員より欠席のご連絡を受けておりますが、全10名中8名のご出席をいただいておりますので、委員会は成立することを報告させていただきます。

なお本日の委員会につきましては、会議録作成のため会議内容を録音させていただきますのであらかじめご了承ください。

また、発言の際は、お手元のマイクのボタンを押し発言後は、もう一度ボタン押してマイクをオフにさせていただきますようお願いいたします。

それでは初めに倉田委員長よりご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【倉田委員長あいさつ】

○司会

それでは早速議事に入りたいと思っております。

附属機関設置条例第6条第1項に、委員長が会議の議長になるとございますので、ここからの議事進行につきましては、倉田委員長にお願いしたいと思います。

倉田委員長、議長席へお願いいたします。

○倉田委員長

それでは議事を進めさせていただきたいと思っておりますが、発言される方は、挙手をお願いいたします。

本日の議題は6件となっております。

それではまず、議題1. 第6回委員会議事内容について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局

この後の議題の進め方についてですが、まずは議題1と前回議論いただきました議題2を最初にご説明し、次に、議題3～5まで、そして最後に、議題6をご説明させていただきたいと思っております。

ご質疑につきましては、説明終了の都度、お願いしたいと思います。

なお、こちらの都合で大変申し訳ないのですが、この後会議等が引き続き予定されておりますので、大体15時30分を目途に議事を終了していただけますようご協力よろしくお願いいたします。

それでは、シアターワークショップより説明いたします。

○シアターワークショップ佐藤氏

【議題1、2について説明】

○倉田委員長

それではただいまご説明いただきました議題1、2につきましてご質問ご意見ございましたらよろしくお願いいたします。

○伊藤委員

多目的ホールをスタジオとして多目的に使える形に変えたのは、非常にいいと思います。

そうすると、メインホールは固定席になっていくのかと思います。

スタジオとなった場合、設計の仕方が変わってきますが、現段階では、事業手法については、あえて曖昧のままにしているのでしょうか。

○倉田委員長

メインホールについては、不確定な要素が多くあります。

当初想定していたものよりも延床面積が縮小されると思いますが、その場合、メインホールを多目

的とする必要があります。

しかし、この場ですべて明確に決める必要はなく、設計者や運営者の意向も踏まえて決めていけばいいのかなと思います。

○伊藤委員

考え方を明確にし、設計段階で事業者から提案してもらう方向性であれば、委員長の意見に概ね賛成です。

○松井委員

メインホールは、土日の発表やイベントが中心になると思いますが、平日利用を考えると多目的な可動にした方がいいと思います。

基本構想から具体的な施設の在り様までの経緯が抜けていて、考え方レベルなどコンセプトが弱いように感じます。

劇場が何をしようとしているのか、それに向かってふさわしい設計、運営組織を決めるというプロセスが求められます。

基本計画段階で、劇場の方針を書き込む必要があり、そうしないと、あるべき事業展開や組織の姿が現状では見えてこないと思います。

○倉田委員長

今のご意見でもありましたように、運営の仕方、事業の方針が不確定だとコンセプトを決めるのは難しいと思います。このあたりは、今後の議論の中で詰めていく必要はあると感じています。

○土居委員

運営を官がやるのか指定管理になるのかということによって、施設構成が大きく変わるもののイメージが沸きません。

一般的には、建てられたホールがあり、そこに指定管理が入って運営をしているところでも、上手くいっているところはたくさんあると思います。

ですので、どこが運営をやってもやりやすいような施設にできないのかなと思うのですが。

○松井委員

順番で考えているわけじゃありませんが、劇場、或いはホールとして何をしようとするのかというのがまず一つあって、その目標に向かってのふさわしいハード、ふさわしい運営組織、ふさわしい事業となると思います。

しかし、それよりも私は、基本構想がかなり抽象的な理念になっており、そこからすぐに具体的な施設の話になっているので、もう少しこのホールが何を目指しているかということを基本計画的な部分で書き込まないといけないのではないかと思います、それがあつた上で、ハード、組織、事業手法の望まれる形を考えていけたらと思っています。

○土居委員

確かに、少し施設側に偏った議論になっていると思いますので、今までの議論、基本構想が反映された資料作りをお願いしたいと思います。

○伊藤委員

誰が運営管理者になっても、事業がしやすいコンセプトを目指すべきなのではないかと思います。

したがって、冒頭に基本理念、劇場のコンセプトを書き込む必要があり、現状では、運営者や設計者にとって分かりにくいと思います。

○松井委員

私もこれまでの議論が基本計画にもう少し反映された方がいいと思います。

○宮崎委員

多目的ホールがスタジオに変更となりましたが、ここでピアノの発表会は可能なのでしょうか。

以前はホール部門にリハーサル室がありましたが、その機能をスタジオが担うということでしょうか。

○事務局

発表会の程度にもよりますが、ピアノの発表会を実施することは可能です。

リハーサル室については、スタジオでもその機能を担えます。

○古橋委員

スタジオ、メインホールなどの名称がついていますが、ここではそれぞれの使い方やつながり方を考える方が重要だと思います。

楽屋の利用対象は誰か、多目的ホールにてどのような活動をするのかなどは置いておいて、ここでは、皆さんが木更津でどういうものを望んでいるのかを考える必要があります、木更津として作る意味を考えなければならないと思います。

劇場は、決まった箱をぼんっと置くだけではなく、周りの環境などの影響から立ち上がるイメージで、その土台がこの基本計画で見えてくる必要があると思います。

○倉田委員長

運営者によってハード面が大きく変わることはありませんが、利用のされ方は大きく変わると思います。

指定管理者によって市民との関わり方がどうなるか、市民は施設をただ使うだけなのか、運営にも関わってくるのかが気になります。

施設をコンパクトになおかつ利用をより高めようとする、楽屋の重ね使いが必要になりますので、施設の性格を改めて基本計画の冒頭に書き込んでいただきたいと思います。

また、「多目的」から「スタジオ」になったことで日常利用の色は強くなったかとは思いますが、多目的の部分もある程度担っていくよう、少し流動性を残す意味でも、ホールを平土間にするという選択肢もあっていいのではと思います。

○土居委員

メインホールの可動の有無でスタジオの面積は変わるとは思いますが、その判断の基準は何かあるのでしょうか。

○松井委員

ホールの面積については、多少増えるのかと思いますが、それよりも「多目的」から「スタジオ」になって、ハード的な機能面というより利用状況として変わるというイメージなので、面積に関してはいま考えなくていいのではと思います。運営者がどう活用するかにもよるとは思います。

○古橋委員

こういうことをやりたい、と言っただけならば、設計側はどうにでも対応はできます。

それよりもどこにお金をかけるかが問題であり、これは運営方針に密接に関わってくるとは思います。

○倉田委員長

今までの議論を踏まえて、どういう施設、位置付けとするのかということ、これまでの議論を踏まえて書き込んでいただきたいと思います。

それでは続きまして議題3～5についてご説明をお願いいたします。

○シアターワークショップ佐藤氏

【議題3～5について説明】

○倉田委員長

それではただいまご説明いただきました議題3～5につきまして、ご意見、ご質問ございましたらよろしくお願ひいたします。

○伊藤委員

議論が必要なのは、8ページ上段の管理運営の基本的な考え方だと思います。

現状では、具体的な設計に入る前に、この施設の存在意義が弱いと感じますので、ここを明確化にすれば、組織や事業の方針が決まるとは思います。

ドイツでは30年前から文化施設において、文化芸術の享受ではなく、市民が能動的に文化芸術含む地域文化にかかわる、という整備が進んでいます。

日本においても、芸術文化の鑑賞以上に、地域との関わり・担い手が重要ですので、木更津というまちを作っていくという機能を全面に出す必要があると思います。

○松井委員

基本構想をベースにしながら基本計画を作成するので、基本構想の基本理念を変える必要はない

と思いますが、これまでの議論を正確に反映させるとなると、「基本理念」と「基本的な役割」の間に方針などの項目が必要だと思います。

○倉田委員長

主役は市民ということは明確に書かれており、市民が積極的に能動的に関わるということも謳われていますので、これまでの施設とは大きく異なる部分だとは思いますが。

ハードとして大きく変わることはないとは思いますが、最終的にはどのように利用するかが問題になります。

○伊藤委員

基本計画9ページに市民が主体であるというような今までの議論が集約された内容を記載することが不可欠で、市民目線での書き方が必要だと思います。

○古橋委員

ホールのネーミングについて、基本理念を考慮し、オーガニックホールとしたら、ユニークだし唯一のものになると思います。

なぜ、オーガニックなまちづくりに文化芸術の振興が必要なのかということが明記されることで初めて説得力が出てくると思います。

現状では、2ページと3ページの間の溝が埋まってこないことが問題だと思います。

○松井委員

木更津のまちづくり理念が中規模ホールにどのように反映されているのかがわかりません。

市民が主体という考え方に至るまでの理念と役割の間のプロセスを2～3ページに明記してほしいですし、行政としての施設に対する考え方、決意表明があるといいと思います。

○倉田委員長

まちづくり全体を象徴するようなキーワードである、「自立・循環・共生」が施設づくりとつながっていないのは事実です。

まちづくり側から施設にアプローチするのはなかなか厳しいと思いますが、逆に施設側からまちづくりの理念に寄って行き、基本理念を踏まえた施設にとっての理念が書かれているとわかりやすくなると思います。

○松井委員

木更津市の現状、人口動向、東京都の関係性、単純にまちづくりという大きな概念ではなく、居場所というキーワードも出てきました。

これまでの議論で出てきたキーワードを踏まえて、「自立・循環・共生」からもうひとつ違う次元、ブレイクダウンされたコンセプトの展開が求められると思います。

○伊藤委員

2～3ページではなく、9ページがかなり単純にまとめられていることに問題があります。

施設の役割、考え方ということをもっと強く反映させてほしいと思います。

○松井委員

「2. 施設計画の考え方」を修正する必要があると思います。

現行の施設計画はハードに対する考え方ですが、ハードと組織と事業運営方針を合わせたものが施設と考えて、施設全体の事業運営、管理運営の基本的な考え方の明記があった上で、具体的なハードの在り様が来るべきだと思います。

「基本構想」→「施設の具象的な事業運営、基本計画」→「ハード」という順番ですが。

○土居委員

前回と前々回の委員会の議論内容、中規模ホールの位置づけをしっかりと整理してほしいと思います。

○倉田委員長

9ページの基本的な考え方は、一般的なものに過ぎず、劇場の在り方も変わってきていますので、もう少し整理する必要があると思います。

施設計画がただのホールの機能の説明にならないよう、2～3ページの間というよりは、9ページに「在り方を施設に反映する」といった内容で、木更津市としての在り方を追記する必要があると思

います。

それでは、予定されています15時30分になりましたので、このあたりで議論は終わりにしたいと思いますが、本日委員の皆様よりいろいろ問題提起をいただいたことを受けて、少し事務局の方でご検討いただいた上で、次回、そのあたりをもう一度お示しいただければと思います。

なお、本日議論できませんでした管理運営事業については、次回議論にさせていただきたいと思えますのでよろしく願いいたします。

○司会

皆さんご審議ありがとうございました。

次回第8回の検討委員会につきましては、2月5日（水）14時からの開催を予定しております。

それでは以上をもちまして、第7回木更津市市民会館検討委員会を終了いたします。

本日はありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和2年 2月 5日

木更津市民会館整備検討委員会委員長 倉田 直道